

地域の記憶を小冊子にまとめ記録にする

「さくらの里のものがたり」を記録する有志の会

活動の目的

地域の連合町内会長などたくさんの役をひきうけ、ひたすら住民のためにつくした湯浅金平さん。その業績を記録に残しておきたいと有志の会をつくり、小冊子にまとめる。

活動の内容及び経過

小冊子「さくらの里のものがたり」を1,000部作製。公民館の窓口などで扱ってもらい、地域の協力を得て、現在700部ほど頒布。

金平さんの家族・知人・友人・地域の人たちへの聞きとりをする。残されている資料を集め、検討する。そのなかで次の項目をあげ、順次小冊子を作ったら、という話になった。

①山陽本線「高島駅」のこと

金平さんは、高島駅設置期成会会長として、労力、お金、時間をささげ、遂に県下初の住民駅といわれる「高島駅」を誕生させた。

②地域でいったん絶滅していたホタルをよみがえらせた。家の田畑を使い、養殖の苦労を重ねて成功させ、幼虫を用水に放流、今在家、祇園あたりを「ホタルの名所」にした。

③旭川から百間川へ水を引くあたりの川辺の整備に尽力。草を刈り、さくらの苗木を植えていった。現在「せせらぎ広場」と親しまれ、さくらの名所となっている。

今回、助成の対象となったのは③の活動である。有志の会員が取材や資料しらべを重ね、何回も編集の会議をもった。子どもからお年寄りの人まで気軽に手にとってもらえるように、わかりやすい文をねりあげた。また、より親しみをもってもらうため、画家に絵を依頼し、小冊子ができあがった。

活動の成果・効果

できあがった冊子は公民館、婦人会、協力者によって地域にひろげられている。

目を通した人たちからたくさんの喜びの声が届いた。また山陽新聞に載ったことで地区外の方々から注文が寄せられ、読んだ方々の感想のお便りがたくさん届いた。その一部を紹介したい。

「金平さんのような市井の人々の無償の行為こそがこの世の光ですね」「金平さんの思いや、やったことだけでなく、家族や友人も登場していて深みのある内容になっていますね」「地域のために貢献されたことを知り読後もずっと感動させてもらっています」「金平さんの活動を記録として次の世代に残された活動は立派だと感服しています」「自分の住んでいる地域のことを知らないでいました。いい勉強にな



りました」「貴重な資料として子や孫にも伝えたいと思っています」

地元にはずっと、金平さんのことを記録に残しておくべきだという声がありながら、具体的にとりくむ人がいなかったなかで、困難を力を合わせてのりこえ、ここに小冊子を完成させたことを喜んでいる。

今後の課題と問題点

現在、700部を頒布している。こういう資料は一過性のものでなく、ゆっくり地域に広がっていくものである。口こみも含めて広めていく努力を続けたいと思っている。特に高島学区は新築住宅がどんどん増えている。こういう人たちに広げていきたい。

- 代表者：坪井あき子 ●所在地：岡山市中区祇園
- TEL：086-275-1112
- 設立年：2016年 ●メンバー数：5名